

脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.172

知っておきたい繊維の知識～アパレル編④

こんにちは！

新しく『知っておきたい繊維の知識』(ダイセン株)より『アパレル編』をご紹介します。ぜひご覧ください！

【衣服の基本特性～その4】

衣服に要求される性能には、着用(使用・着心地)面における性能と感性(外観)面の性能、および経済性があり、加えて製品作成のための製服性も大切な要素で次のような性能が重視されています。

今回は制服性(テラビリティ)をまとめてご紹介します。

(4) 制服性(テラビリティ)

①加工性(仕立てやすさ)

②表現性(仕立て映え)

制服性というのは、平面上の素材を縫製して立体的な衣服に仕立て上げる場合の「仕立てやすさ」と「仕立て映え」を総合的にとらえたもので、可縫性、成形性、形態安定性、寸法安定性、セット性、プリーツ性などの素材特性と結びつけて考えることができます。



facebook情報宅急便！

www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは！ボビンです♪
ボビンの会社はミシン糸も取り扱っていて、いろんな縫製工場に届けています～

縫製工場といっても、縫製する商品分野はいろいろあるので、ミシンや設備も各工場によって全然違うんですよ。

アパレル、カーテン、椅子、テントシート、ニット、旗、バッグなどこのように縫製品といっても商品は様々ですよ。

画像にあるのは「ミシン糸」の色見本です。商品によってミシン糸の強度を使い分けするんです。ミシン糸には番手と呼ばれる太さを表す数字があり、数字が増えるほど細い糸で、少なくなると太い糸となっています。

一般服地の紳士、婦人用では60番～50番、皮革製品や帆布製品には20番から5番といったように使い分けしています。

画像にあるように、ミシン糸には色見本帳があり、生地に合わせて色を選ぶことができます。

一般的によく使う番手では約400色ほどあり、各メーカーでも色の微妙な違いもあるので

その色数はさらに膨らみます。それ以外にも、糸の製法、素材、伸度なども分かれていますので縫製品に適した糸を選ぶことも大事なんです～

ミシン糸選びに迷ったらぜひお問い合わせください～♪



NET PICKUP! 博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査

定点点数調査で回答の変化を観測しています

生活定点点数より <https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2024-12/>

2024年12月の消費意欲指数は？

最新(2024年11月上旬)調査結果

20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化 **54.5%**

前月(11月)より8.3↑ 前年(2023年)より0.8↓

年末年始に向けた消費意欲は前月から大幅上昇。女性の意欲向上が目立つ
消費意向は「食品」「外食」「ファッション」など、多くのカテゴリーで前月比増

ラベルくん www.label-kun.com

～株式会社脇本商事のホームページからのお知らせ～

ラベルくん.comを運営しています脇本商事では生地をはじめ、副資材から梱包材など繊維製品の専門材料をピックアップしてご紹介しています。ぜひご覧ください～♪

<https://kk-wakimoto.com>



脇本康裕の気になるコラム
「社長の脇本が「気になる」コラムを連載中！」
ミノンシの糸が繊維に
虫たちのなかにはシルク(絹)をつくる能力を持つものが多いらしいです。
よく知られている蚕やクモをはじめ、10万種を超える虫たちが色も太さも様々な糸を生成できるといわれているのを知ったとき驚きました。
この虫たちがつくる糸は一般的にタンパク質でできていてその性質の研究を進めているうちに生体への親和性や物質透過性など、意外な機能性をもつこともわかってきたのだそうなんです。
例えば、手術用の縫い糸にシルクを使うと抗体反応が起きにくいとか、コンタクトレンズに使えば酸素を透過できる機能が役立つなどの事例もあるらしいです。
そんななか、医薬品製造などを手がける興和(名古屋市)はミノンシが吐く糸を繊維として世界で初めて製品化したという記事を見ました。
糸は蚕から取れる絹やクモの巣などの天然繊維と比べても強度があり、弾力も強いという天然繊維に取って代わる可能性があり、近くミノンシ繊維を使ったスポーツ用品が商品化される予定とのこと。
ミノンシの糸は量産体制の実現も見えてきているようで産業活用も間近となっており、自動車部品などへの応用が見込まれているそうです。持続可能な社会の実現といわれているいま、大きな技術変化が生まれそうです。

Gadget Star

ガジェットの星

便利な商品をインターネットから探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/3573738>

Fire TV シリーズと連携するサウンドバー「Fire TV Soundbar Plus」が国内初登場

Amazonは11月14日、国内初登場となるFire TVシリーズのサウンドバー「Fire TV Soundbar Plus」の予約販売を開始しました。価格は3万4800円(税込)で、12月6日(金)23時59分まで発売記念セールとして2万6800円(税込)で購入可能。12月16日から順次出荷を開始する予定です。



Dolby AtmosとDTS:Xに対応する3.1ch サウンドバー



3基のフルレンジスピーカー、3基のツイーター、2基のサブウーファーを内蔵する3.1chのサウンドバー。HDMI(eARC)または光デジタル端子からテレビに接続し、本体の電源をONにするだけで臨場感のあるホームシアターが実現します。本体サイズはW942×D131×H64mm、重量は4.0kg。

Dolby AtmosとDTS:Xに対応し、パワフルな低音と包み込むような立体的サウンドを再現。左右のチャンネルに加えて、人の声をクリアに再生するセンターチャンネルを搭載し、全体の音量を上げずに声の大きさを5段階で調整するダイアログエンハンサーの機能が利用できます。さらに、ジャンルやシーンに合わせたオーディオモードが映画、ミュージック、スポーツ、ナイトの4種類用意されています。

Fire TVシリーズと連携

「Fire TV Stick」「Fire TV Cube」といったメディアストリーミング端末と連携。テレビのリモコンやFire TVリモコンを使って、Fire TVの画面上でサウンドバーの低音レベルや高音レベルを調節できます。

スマートスピーカーの機能はなく、Alexaは非搭載。Bluetooth接続にも対応し、スマホの音楽を再生するBluetoothスピーカーとしても利用できます。



※文章：ガジェット通信より抜粋

